

地震

手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認

○静岡市清水区の地震による危険

最大震度6強～7の揺れと、液状化の可能性が想定されています。

○震度と体感

震度5弱	震度5強	震度6弱	震度6強	震度7
大半の人が恐怖を覚え、物につかまらないと歩くことが難しい	物につかまらないと歩くことが難しい	立っていることが困難になる	這わないと動くことができない	耐震性の高い木造建物でも傾くことがある

○液状化が発生した場合

マンホールなどの埋設物が浮き上がったり、道路に段差が発生する可能性があります。避難する際には足下に注意しましょう。

情報収集手段に関する紹介

避難情報やハザードマップが確認できます。

静岡県防災アプリ



土砂災害の危険度、河川の様子を確認できます。

気象庁キキクル



避難情報や同報無線の放送、避難所の開設が確認できます。

静岡市防災メール



防災情報が電話から音声で確認できます。

静岡市防災情報(電話)



※避難先が分からない場合は、静岡市HP(指定緊急避難場所・指定避難所一覧)や静岡市地理情報システム しすマップ で確認しよう!

わたしの避難計画 作成ガイド

静岡市 清水区 庵原地区 (杉山(北)、茂畑(北))

<目次>

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認



手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入



手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入



手順④ 大地震発生時の災害リスクを確認

P1

P2

P3

P4

<見本>

静岡市清水区■ ■ ■ 地区
「わたしの避難計画」
作成日 R〇〇年〇〇月〇〇日

別紙の「作成ガイド」を見てチェックしたり、メモしたりしておこう！

●家族の状況 ガイド手順①参照
●避難に時間がかかる人
 いる _____人
 いない

●避難のタイミング
大雨が降った時 ガイド手順②③参照

大雨が降った時のおそれ
 おそれなし
 おそれあり
□ 家屋流出のおそれあり
浸水深 0.5 m
□ 家屋倒壊等氾濫想定区域に居住
□ 浸水のおそれあり
(河川の浸水想定区域に居住)
※内水についても、静岡市防災情報マップで確認してみましょう。

●土砂災害のおそれ
 おそれなし
 おそれあり
□ 土砂災害危険箇所
□ 土砂災害(特別)警戒区域

●メモ(自由記入欄)

●持出品リスト 災害時に持っていくものにチェックを入れよう！

●緊急連絡先
●避難指示が出されたら
●●さん ○○-×××-△△△△

大雨(河川氾濫・土砂災害)の危険
あり なし
●避難先 ●情報収集手段
●生活学習交流館 静岡県防災アプリ

●強い揺れから身を守りましょう！
津波
□ 自宅にいません
□ 自宅にいます
【注意】
津波のときは、自宅にいる場合は、できるだけ早く、より安全な場所へ避難が必要です。

事前の準備
●現金・通帳 携帯ラジオ 携帯電話
□ 充電器 携帯電灯 マスク
□ 飲料水 非常食 着替え
□ 常備薬・持病薬 消毒液 体温計
□ その他の持ち物
●その他

手順① 家族で避難に時間がかかる人がいるか確認

- 家族で避難に時間がかかる人がいるかどうか確認しましょう。
- 避難に支援が必要な方は、あらかじめ支援してもらう方を決めておきましょう。

次のページに進もう→

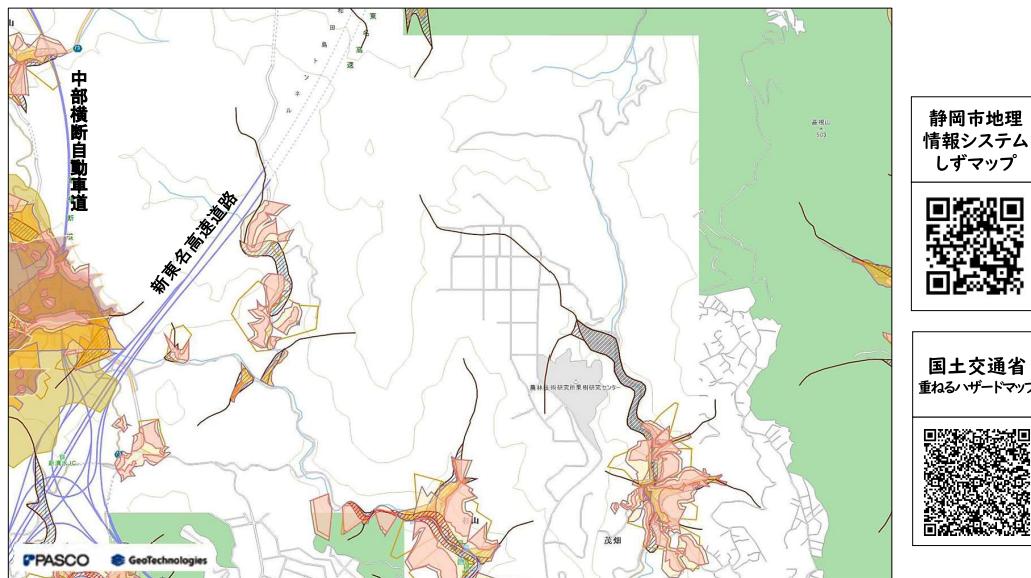
P1

大雨(河川氾濫・ 土砂災害)

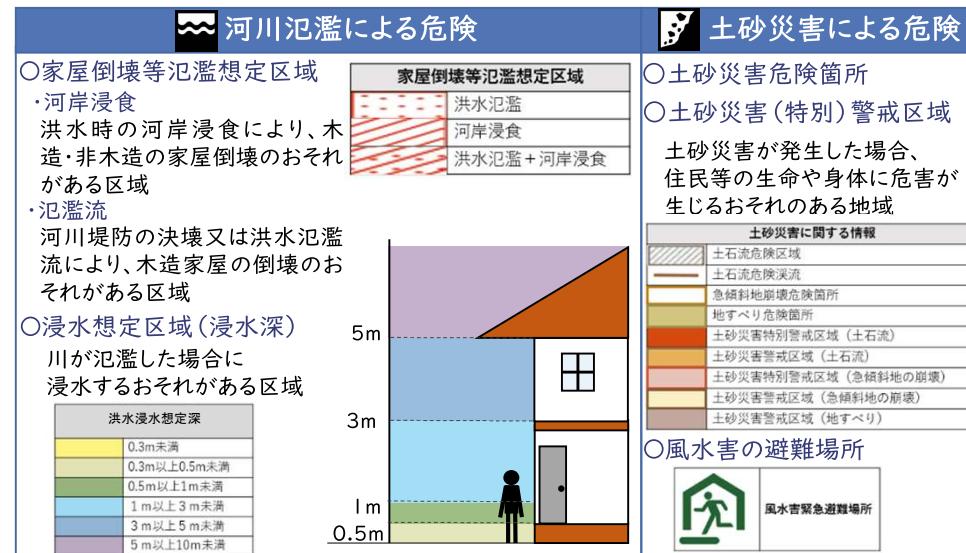
手順② ハザードマップで自宅の災害リスクを確認し、記入

ア 自宅の位置を確認しましょう

見にくい場合は「静岡市地理情報システム しづマップ」、もしくは国土交通省の「重ねるハザードマップ」で確認しましょう。

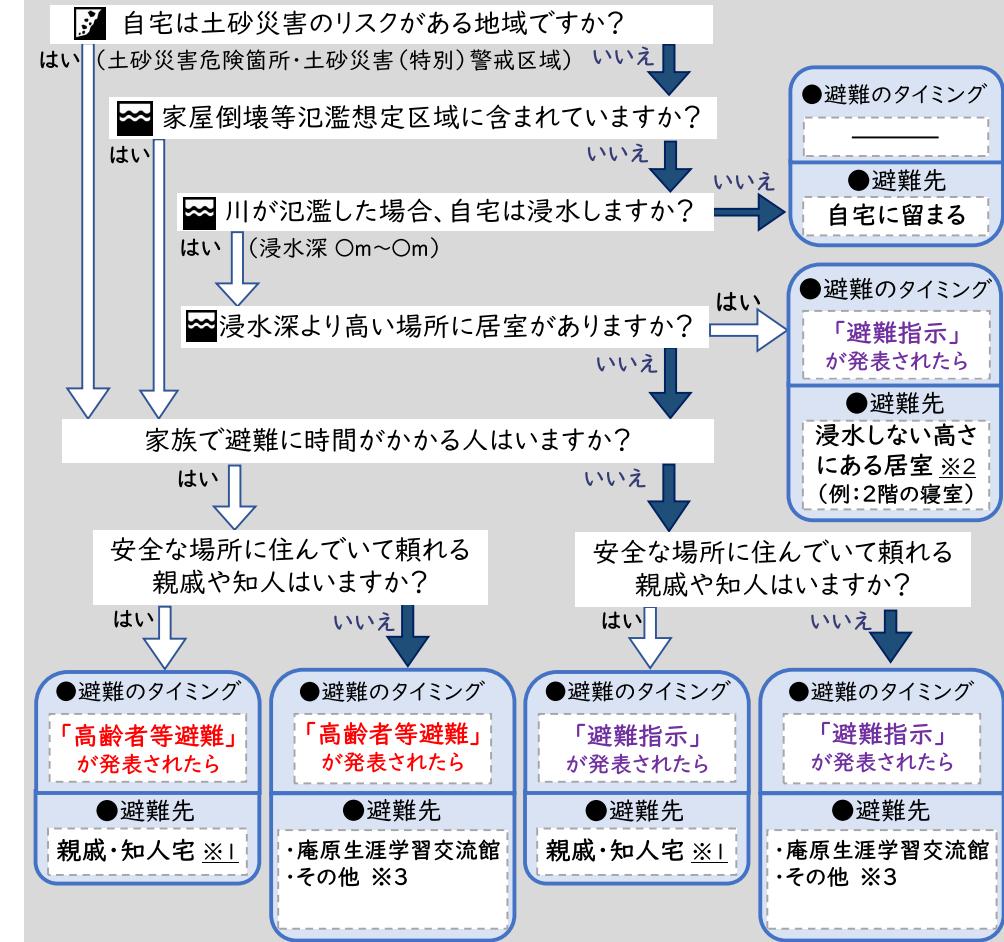


イ 下記の災害リスクを確認し、「わたしの避難計画」に記入しましょう



手順③ 避難のタイミング、避難先、情報収集手段を確認し、記入

ア 避難のタイミング・避難先を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう



※1 親戚・知人宅へは、可能であれば事前に避難するようにしましょう。

※2 水が引くまでの間の「飲み水・食料」や「簡易トイレ・携帯トイレ」などを準備しておきましょう。

※3 小学校、中学校以外の避難先については、自治会に確認しましょう。

イ 情報収集手段を決め、「わたしの避難計画」に記入しましょう

気象警報、避難情報、同報無線の放送、避難場所の開設状況

- ・静岡市公式LINE
- ・静岡市防災メール
- ・静岡県防災アプリ



避難情報やニュース

- ・テレビ
- ・ラジオ

